

全ての争議を解決し
安全・安心の航空へ

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.953 (34-03) 2019年10月19日

10/9 国民支援共闘会議主催 代表者会議報告①

年内解決を目指して最大結集を 全国的な運動を集中させ、JAL を包囲することを確認！

10月9日、日本橋にて国民支援共闘主催の代表者会議が開かれました。年内解決を目指してどのような方針が必要か、活発な意見交換が行われました。意見交換に先立ち、国民支援共闘の津恵事務局長から、これまでの運動の到達点と、今後の運動方針が提起されました。

地方から参加した支援者も含め 66 名が参加し、13 名の方から各々の取り組み報告や今後の方針への忌憚のない意見が出されました。「JAL の解雇が労働者全体にかけられた攻撃であること」と合わせて、集中した全国的規模の運動で JAL を包囲し、年内解決を目指すことが確認されました。

開会の挨拶・・・国民支援共闘代表 小田川全労連議長



今年2月の総会において、膠着した状況の局面を変えることを目的に、6月の株主総会を目途にした行動の強化を確認し、社外からの会社包囲の行動を再開した。再雇用者一人（乗員地上教官）とした結果にも拘わらず、今年6月の株主総会での社長発言は、「選考の結果は残念。他に方法がないか考え続ける」という段階に留まった。この発言からしても、統一要求に正面から向き合って、「解雇者を優先的に職場に戻す」「解決金交渉」に踏みこませるためには、一回りも二回りも取り組みを強めていく必要がある。その点で、当該労組には、「秋の交渉で行動を背景にした交渉を」、原告団には「社内外の世論喚起の為のできる限りの行動を」、支援者には、「当該組合の交渉と歩調を合わせた支援の強化を」が提案の骨子である。この方針に対し意見を頂くのが今日の会議の目的である。

昨日 JAL に対して、国交省は飲酒問題で再度の業務改善命令を出した。パイロット不足による過重労働をそのままにしておいて、管理強化と厳罰化で労働者を締め付けることでは、問題の本質的な解決にならないと思う。同時に改善命令を契機に、会社が更に態度を硬くして争議解決を先送りする、その事への懸念を持たないではない。

ベテランを返すことの重要性、解雇争議の解決の重要性の世論作りと会社攻めを強調したい。





昨日飲酒問題で事業改善命令が出された。これ迄の会社の対応を見ると破綻後と同じで信頼関係が崩れ闊達にモノが言えない職場となっている。

乗員組合は年間方針で3本の柱を立てた。①解雇に関する交渉を充実させ厳しい交渉をする。②全国の皆さんと共に、運動を大きくして連携を強めていく。交渉の内容を早く全国に発信したい。③世界の乗員と組織との連携。すでに動き出している。9月にエルサレムでIFALPAの会議があり、支援を打ち出した声明文が採択。地上職の人が乗員を支援することがあまりない為、支援団体の運動の写真を見せたら感動していた。今月19日にはILOに再度行く。また、24・25日にはマドリードで行われるアライアンスの会議にも参加する。

年内早期に解決したいと強く思っている。スト権発議の論議には至っていないが、飲酒事件を中心として、日々変化する複雑な情勢変化の中でどの様な道が最良か、会社の対応も観ながら今後の方向性の決めて行く事が重要であると考えている。全力を尽くす。

採用試験に応募した者を全員不採用にする等、2重に人権を踏みこみにした。不誠実な対応は断固として許さない。解決策を示すべきという組合の主張に対しても解決策を一切提示していない。社長出席の団交を乗員組合とともに申入れた。会社の対応を見極めつつ進めて行きたい。

2016年に勤務基準が改悪され、負荷の高い勤務の組み合わせが可能になった。現場は過酷さを増し、モノが言いにくい風土で閉塞感がある。飲酒で2度目の業務改善命令。会社は解雇を含む厳罰を就業規則に盛り込み、抜本策を出していない。社長に言いたい。社員を大切にすること、そのために社員への投資をすること、根幹に繋がる解雇問題の解決は不可欠であると。

争議解決はオリパラのスポンサーとしての社会的責任、OECD 多国籍企業のガイドラインに照らししても重要。「10回目の大晦日を迎えさせない」を職場世論にし、年内解決に向け、全力を尽くす。



静かな環境での闘い（運動自粛）は終わったので自作の歌を披露します。～♪♪～

昨日も国会オルグに行った。業務改善命令が出た事もあり、よく話を聞いてくれた。オリパラについて、トヨタが一番高いワールドワイドスポンサーで250億円払っている。明乳はゴールドスポンサーで150億円、JALは公式スポンサーで60億円。スポンサーになっている企業の争議団と一緒に行動しようと話を進めている。今日支援者のご意見を聞いて力を新たにしました。力いっぱい頑張る。

およげたいやきくんで ♪🎵

まいにち、まいにち、僕らは本社前—
宣伝行動を続けます
9年前の大みそか、突然首を切られたの
はじめてオルグに出かけたら
支援者がみんな言ってたよ
JALがそんなことするなんて
ベテランの解雇は良くないと—
(さらに③番まで続く)

「全国統一行動」は持てる力で取り組んでいきたい。内圧を高める為に、成田の会社玄関前でビラ配布をずっと続けてきたが、10月1日から統一したゼッケン「解雇から10回目の大晦日、今年こそ解決を」等をつけて配布している。職場との関係を作りながら、この闘争を頑張っている。

植木会長は昨年1月12日まだ社長の時に「自分の代で争議を解決したい」と言った。やっと会社がその気になったと思った。4月に赤坂社長も就任早々の同様の発言をした。労使交渉の場で発言したのだからその方向に進むと思った。再雇用の応募でのべ21名が不採用になり、本当にかっかりした。30年40年JALに貢献してきた原告たちへの2度に渡る不採用の仕打ちは許せない。悔しさと憤りの気持ちを解決したいというエネルギーに変えて頑張りたい。

